

【時間割コード】	※空欄
【科目名】	法律ゼミナール（国際協力）
【英文科目名】	
【担当教員（代表者）名】	
【開講学期】	春学期・その他（ ）*不要部分は消してください。
【曜日・時限】	曜日・ 時限

【授業の目的（必須）】 授業で何を知らしてもらいたいのか。そのねらい、目的を示してください。

現代世界は、エボラ出血熱や ISIS の事例を見るまでもなく、局所的に発生した問題が容易に国境を超えて国際的課題として派生するグローバルな社会となっている。発展途上国を発信源とする貧困、格差、暴力、テロ、災害、感染症、難民流出、環境汚染といった課題が先進国に影響を及ぼすことがある一方で、先進国が抱える高齢化、少子化、過疎化といった課題が途上国に影響を及ぼすこともある。

本ゼミナールは、現代世界が抱えるこうしたローカルかつグローバルな「課題」に対して、有効な「解決策」を考案するワークショップとしてデザインされたものである。各人は、(1) 何を「課題」として設定するのかを決定し、(2) その課題を解決するための既存の取り組みを「調査」した上で、(3) 既存の方法とは異なるオリジナルな（もしくは改良版の）解決策を「提案」することを求められる。(4) 最終的には各人が考案した課題解決策を発表しコメントしあう「政策コンペ」を開催することを目指す。

現実課題に対して有効な解決策を編み出すためには、受講生諸氏はこれまで学んできた知識を総動員して取りかからねばならないであろう。現在進行形の国際課題は、諸氏がこれまで教科書で学んできた基礎問題が複合的に絡み合った「応用問題」であるからである。よって本ゼミナールは、現実課題を前にして、「これまで学んできた知識をどう使うか」を試行錯誤しながら学ぶ場となるであろう。この、実践において使える学問、生きた学問を修得することこそが本ゼミナールのねらいである。なぜなら、経済学を含む社会科学という学問は、現実社会において発生する諸問題の解決に資することを目的に生まれたのであり、国際社会科学府から社会に飛び立つ諸氏にはそのような役割が期待されているからである。

【授業概要（必須）】 授業計画を第1回～第15回（4単位科目は第30回）まで、1回ごとに具体的に記述してください。

なお、定期試験を実施する場合には第16回目もしくは、第31回目に「定期試験」と記載してください。

1. オリエンテーション
2. 解決すべきと考える課題の発表 (1)
3. 解決すべきと考える課題の発表 (2)
4. 解決すべきと考える課題の発表 (3)
5. 課題別グループの形成
6. 課題別グループ作業
7. 既存の解決策についての調査報告 (1)
8. 既存の解決策についての調査報告 (2)
9. 既存の解決策についての調査報告 (3)
10. 課題別グループ作業
11. 課題に対して有効と思われる解決策の発表 (1)
12. 課題に対して有効と思われる解決策の発表 (2)
13. 課題に対して有効と思われる解決策の発表 (3)
14. 「政策コンペ」(リハーサル)
15. 「政策コンペ」(公開)

【履修目標・到達目標 (必須)】 授業を通じて学生に何を習得させるか、期待される学習の成果等について、必ず記述してください。

履修により得られるキースキルについても、できるだけ記載してください。※学生を主語として記述してください。(例:「～ができる。」、「～ができるようになる。」)

本ゼミナールへの参加を通じて、以下の点の習得が期待される。

- ① 現実課題を解決するための道具として知識を使いこなすとはどういうことなのかがわかるようになる。
- ② 学部の1年次・2年次に学んできた知識を、机上ではなく実際に適用する経験が得られる。
- ③ 学問を学ぶことの意義をより具体的に理解できるようになる。
- ④ 知識が出力される回路を知ることにより、知識のインプットの仕方もこれまでよりも効率的・効果的にできるようになる。
- ⑤ 学問領域や学問分野ごとに分割されて頭に格納されている知識を組み合わせる用いる応用力を身に付けられる。
- ⑥ 他者によってつくられた政策の問題点を見抜く批判的な目が養われる。
- ⑦ 短期で解決できることと長期でなければ解決できないこととの差異を実感できる。
- ⑧ 政策をデザインすること意義のみならず、限界についても知ることができる。

【授業方法】 資料の配布や音声もしくは画像教材の活用など、授業の進め方について説明してください。

また、授業中の質疑・討論や小テスト、課題提出、レポート作成その他、授業方法に関する情報を記述してください。

各人の問題関心の重複や人数によってはグループを設ける場合もある。必要に応じてグループごとのサブゼミを開催することもありえる。毎回のゼミは各人(各グループ)の課外学習の成果報告およびディスカッションの場となる。

政策コンペに提出するプロポーザル（文書およびプレゼンテーション）が最終成果物となるが、解決すべきと考える課題や既存対策の調査といった中間成果物も提出対象となる。

【成績評価の基準（必須）】 「成績評価基準の標準化」との関係で、評価法とその配分を明記し、評価の観点を記述してください。

最終的にコンペにて提案される政策の有用性によって評価を行う。ただし、それに取り組むプロセスそのもの（取り組む姿勢や中間成果物のクオリティ）も評価の対象となる。

【教科書】 授業や授業時間外学習で使用する図書情報(購入を必須とするもの)を全項目入力してください。
ISBN は半角ハイフンなしで入力してください。
教科書を指定しない場合には、教科書 1 の書名欄に「-」と入力してください。

教科書 1	ISBN		書名			
	著者名		出版社		出版年	
教科書 2	ISBN		書名			
	著者名		出版社		出版年	
教科書 3	ISBN		書名			
	著者名		出版社		出版年	
教科書 4	ISBN		書名			
	著者名		出版社		出版年	
教科書 5	ISBN		書名			
	著者名		出版社		出版年	

<教科書補足> 教科書の使用法、教科書を使わない場合の教材情報、その他学習に役立つ資料の情報などを記述してください。
特にない場合には「-」と入力してください。

特に指定しない。

【参考書】 授業や授業時間外学習の参考になる図書情報(購入が必須ではないもの)を全項目入力してください。
ISBN は半角ハイフンなしで入力してください。
参考書を指定しない場合には、参考書 1 の書名欄に「-」と入力してください。

参考書 1	ISBN		書名			
	著者名		出版社		出版年	
参考書 2	ISBN		書名			
	著者名		出版社		出版年	
参考書 3	ISBN		書名			
	著者名		出版社		出版年	
参考書 4	ISBN		書名			
	著者名		出版社		出版年	
参考書 5	ISBN		書名			
	著者名		出版社		出版年	
参考書 6	ISBN		書名			

	著者名		出版社		出版年	
参考書 7	ISBN		書名			
	著者名		出版社		出版年	
参考書 8	ISBN		書名			
	著者名		出版社		出版年	
参考書 9	ISBN		書名			
	著者名		出版社		出版年	
参考書 10	ISBN		書名			
	著者名		出版社		出版年	

<参考書補足> 参考書の使用法、参考書を使わない場合の教材情報、その他学習に役立つ資料の情報などを記述してください。
特にない場合には「-」と入力してください。

特に指定しない。

【履修条件および関連科目】 当該授業を履修するにあたって、あらかじめ履修すべき授業科目などの条件がある場合に明記してください。
また、並行して履修することによって教育効果を高める授業科目などの情報がありましたら記載してください。

現時点において、課題解決のためのツールや学問を習得している必要性は必ずしもない。世界で起きている事柄に対して敏感なアンテナを張り、問題意識をもっている学生であれば、履修要件は問わない。

ただし、授業時間外における報告準備やグループごとのミーティングなどにも参加、コミットできることは最低限の要件となる。

【キーワード】 5語以内で重要語句(かっこ書きで英語併記)を入力してください。語句は半角カンマ「,」(全角は不可)で区切ってください。
語句抽出が困難な科目は「-」を入力してください。
キーワードは「シラバス検索」で利用されます。

国際問題、公共政策、課題解決、

【備考1】 学習動機を高める学生へのメッセージやその他の注意事項等を入力してください。

担当教員は、国際協力銀行(JBIC)および国際協力機構(JICA)において、開発途上国に対する国際開発援助を専門としてきたため、特に途上国の開発および援助に関心がある学生には専門的見地からのアドバイスができるであろう。ODA 業界をはじめとした国際協力分野におけるキャリア形成等についても相談に乗れるであろう。もちろん、現代世界の課題の解決に向けて本気で取り組んでみたいという学生であれば、途上国の 이슈に限定するものではない。

将来世代を担う皆さんから、現行の仕組みでは誰も考えつかなかったような斬新なアイデアが続々と飛び出てくることを期待する。自由なブレインストーミングをしながら、みんなでよりよい案を作り上げていくワークショップとして機能するようにしたい。

【備考2 [学外非公開]】 当該科目の説明のうちで、学外へ非公開とすることが望ましい事項についてはこの欄をご活用ください。

【参照ホームページ】 学生の学習に効果的な情報が掲載されているホームページがあれば入力してください。

アドレスを入力すると、公開画面に、自動的にリンクが張られます。

複数のアドレスを入力する場合は、スペース（空白）をあけて入力してください。